

【地域活性化総合特区】みえライフイノベーション総合特区

〔三重県〕

平成24年7月25日指定

【目標】

画期的な医薬品や医療機器、生活支援機器などの福祉機器、健康づくりに資する機器、高機能食品など、予防や健康づくりに向けた取組に注力しながら、ヘルスケア分野の製品・サービスを創出するとともに、企業や研究機関の立地、県内への研究開発資金の投入、雇用の拡大等によって、ヘルスケア産業の振興を通じた県内経済の活性化を生み出し、ライフイノベーションに寄与する地域になることを目指す。

【目標実現に向けた取組】

I みえライフイノベーション推進センターの設置・運営

企業等の製品開発を支援する研究開発支援拠点「みえライフイノベーション推進センター（MieLIP）」を県内7箇所に設置し、企業等による様々な製品・サービスの創出を支援



医療・福祉機器等開発の
技術支援や新規参入支援



医療機関と食品メーカー
が連携した食品開発



医薬品企業と高校生が
コラボした化粧品の開発

II 統合型医療情報データベースの構築・活用

三重大学医学部附属病院を中心に県内9医療機関が連携し、患者の医療情報を集約・データベース化し、匿名化のうえ活用

【規制の特例措置を活用した主な事業】

健康増進に資する機能性食品の効能効果の表示・広告に関する規制緩和を提案したところ、機能性表示食品制度の創設による全国展開へとつながった。

➡ **県内企業による機能性表示食品の届出 45件受理**

【財政支援措置を活用した主な事業】

「みえライフイノベーション推進センター」を核とした医療・健康・分野の製品・サービスを開発する事業環境整備と市場の開拓（総合特区調整費86,727千円）

MieLIPセントラル(三重大学)

- ・学内研究者と国内外研究機関・企業等とのコーディネート
- ・地域拠点サテライトなどを活用した地域共創の支援 等

MieLIP鈴鹿(鈴鹿医療科学大学)

- ・医療機器の開発、介護支援ロボット等の社会実装
- ・医薬品、化粧品、機能性食品の開発
- ・薬膳や食育による予防医療の推進と薬用植物の栽培技術の研究 等

MieLIP津(三重県工業研究所)

- ・医療・福祉機器等開発の技術支援や新規参入支援
- ・食の機能性素材の開発、機能性食品の開発 等

MieLIP伊賀

(三重大学伊賀研究拠点・伊賀市立上野総合市民病院)

- ・医療機関と食品メーカーが連携した食品開発
- ・在宅医療システムの開発 等

MieLIP多気(多気町役場)

- ・「医食同源」をテーマとした産業振興 等

MieLIP鳥羽(鳥羽市役所)

- ・海洋資源を活用した化粧品開発 等

MieLIP尾鷲(尾鷲市役所)

- ・健康ツーリズムの開発 等

【金融支援措置(利子補給金)を活用した主な事業】

- ・医薬品等の製造設備の導入
- ・医薬品等の新たな製造施設の整備

これまでの活用実績：12件

上記の実績はいずれも令和8年3月末時点